

# 学生活動等



## 医学部看護学科学生がオンライン教材（健康体操）考案

### 【概要】

本学医学部看護学科4年生の保健師課程の学生19名が、5月から8月にかけて、公衆衛生看護学実習に臨みました。公衆衛生看護学実習とは、看護職の中でも主に、健康づくりや予防医療等に携わる『保健師』を目指す学生を対象にした実習です。本学では、2年次に実施される保健師課程選考試験に合格した学生が、保健師課程に進むことができます。

令和3年度の公衆衛生看護学実習は、主に岐阜県内の3市で実施し、羽島市で実習を行った学生が、新型コロナウイルス感染症の拡大により自粛生活が余儀なくされる中、地域住民の方々の運動不足解消や親子ふれあいあそび等に活用できるオンライン教材（健康体操）を考案し、「清流の国ぎふ」マスコットキャラクターミナモと一緒に収録を行うこととなり、このとき収録した動画がYouTube『羽島市公式チャンネル』等で配信されました。保健師課程の学生の取り組みを是非ご覧ください。



ミナモと一緒に収録を行う看護学科4年生の保健師課程の学生ら

### 【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2021/8/29	朝日	親子で体操を 岐阜大生が動画 羽島市HPで公開 ～ 医学部看護学科4年生6人～

## 「学生フォーミュラ日本大会2021」 プレゼンテーション審査において1位を獲得

### 【概要】

令和3年8月24日（月）～9月6日（月）に行われた「学生フォーミュラ日本大会2021」に出場した岐阜大学フォーミュラレーシングがプレゼンテーション審査において1位を獲得しました。

学生フォーミュラ日本大会2021は学生が自ら構想・設計・製作した車両により、ものづくりの総合力を競う大会です。今回はコロナウイルスの影響で動的審査が中止となり、静的審査のみとなりました。

本学学生チームは学生フォーミュラ日本大会2021において、自分たちの製作したフォーミュラカーの販売戦略として、身体障害者と健常者をつなぐレースプロジェクトの展開について発表を行いました。

10月11日（月）には、今回の成果について、学生チーム及び顧問教員による森脇学長への報告会が行われ、社会問題の解決に取り組む視点が評価されました。

グランプリに出場した学生は、「プレゼンテーションを行うメンバーだけでなく、チーム全員で資料作成を行い、チームの総合力で1位を獲得することが出来た」と報告し、森脇学長は、「今年中止になった動的審査も含め、来年も期待しています」と激励しました。



受賞報告の様子



集合写真

### 【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2021/10/12	中日	誰もが運転しやすい車 学生フォーミュラ 岐阜大チームプレゼン最優秀 ～「岐阜大学フォーミュラレーシング」顧問 菊池聡 准教授，自然科学技術研究科1年 牧田竜汰さん，工学部機械工学科3年 小堀貴俊さん，同 近藤祐貴さん～
2021/10/14	岐阜	学生フォーミュラ・レース車開発 岐阜大チームが7位 障害者向けに補助装置 ～自然科学技術研究科1年 牧田竜汰さん（リーダー），工学部機械工学科3年 小堀貴俊さん，同 近藤祐貴さん～

## 「愛知県大学対抗ハッカソン"Hack Aichi"」 最優秀賞を受賞

### 【概要】

令和3年9月11日（土）～19日（日）に行われた「愛知県大学対抗ハッカソン"Hack Aichi"（愛知県主催）」に出場した本学学生チームが最優秀賞を受賞しました。

ハッカソンとはソフトウェアのエンジニアリングを指す「ハック」と「マラソン」を組み合わせた造語で、ITを活用して新たなサービスや製品等の開発を競い合うイベントです。

本学学生チームはハッカソンにおいて、IoTとAIの技術を用いてデバイス・システム開発を行い、古い機器の見える化やデータ収集など、新しい活用方法を提案しました。

10月11日（月）には、今回の成果について、学生チーム及び指導教員による森脇学長への報告会が行われました。

ハッカソンに出場した学生は、「他大学のチームはアプリ開発のみを意識していたが、こうしてIoTデバイスを含んだ統括的なシステムを開発できたのは、開発環境が整っていた研究室のおかげである」と報告し、森脇学長は、「大会を通じていいチームになったと思う。研究室でもこのチームワークを活かしてほしい」と称えました。



受賞報告の様子



集合写真

### 【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2021/10/13	岐阜	岐阜大生 最優秀賞 愛岐大学対抗IT技術大会 古い設備の稼働記録 見える化 ～工学部機械工学科4年 富田一平さん、佐橋篤典さん、佐藤彰紀さん、長谷川和樹さん、チャン・ヴァン・チュンさん～
2021/10/16	中日	AI活用 設備稼働状況把握 ハッカソン 岐阜大チーム最優秀 ～工学部機械工学科4年 富田一平さん、佐橋篤典さん、佐藤彰紀さん、長谷川和樹さん、チャン・ヴァン・チュンさん～

## 岐阜大学生チーム「iGEM Gifu」 2021 iGEM Giant Jamboreeで金賞を受賞

### 【概要】

令和3年11月4日～14日にオンラインで開催された2021 iGEM Giant Jamboreeに出場した岐阜大学学生チーム「iGEM Gifu」が、金賞を受賞しました。

本大会は学生を主体とした合成生物学の世界大会です。この大会において、iGEM Gifuチームは "Trans-cleavage Endonuclease Specific Fatigue Quantification System (TESTIFY)" 「ヒトヘルペスウイルス6型をバイオマーカーとしたCas12aによる疲労の定量」の表題で発表を行いました。金賞は15ある課題のうち11以上の課題を達成したチームに与えられるもので、2014年の団体設立以来悲願の受賞となりました。

また、各部門賞では研究成果を報告するWiki作成部門において、全356チームの中から部門別に優れた10チームが選出されるBest WikiにiGEM Gifuチームがノミネートされました。

11月18日（木）には、iGEM Gifuのメンバーが学長室を訪問し、受賞の報告を行いました。iGEM Gifuメンバーは発表内容について報告し、森脇学長からは、「来年以降も続けて行ってほしい。期待しています。」と激励がありました。



受賞報告の様子



iGEMメンバーと学長、指導教員

### 【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2021/12/3	岐阜	岐阜大チーム世界「金」 「唾液でストレス数値化」仮説提唱 合成生物学大会「iGEM」活性化するウイルスに着目 ～ 研究サークル「iGEM Gifu」4年 五十川祐一郎さん、3年 佐藤杏香さんら～

## 起業部学生チームが「Tongaliアイデアピッチコンテスト2021」「2021東海学生AWARD」で最優秀賞を受賞

### 【概要】

令和3年11月13日（土）に行われたTongaliアイデアピッチコンテスト2021において、起業部学生3チームが最優秀賞にあたるTongali賞を受賞しました。また、令和3年11月14日（日）に行われた2021東海学生AWARDにおいて教育学研究科1年の杉江萌花さんが最優秀賞を受賞しました。

Tongaliアイデアピッチコンテスト2021は東海地区の大学を中心に学部生・大学院生・ポストドクターを対象とした、自らが温めているアイデアや解決したい課題などを発表し、実現を目指すマインドの醸成を目的としたコンテストです。2021東海学生AWARDは東海にゆかりのある高校生から大学院生までの学生が、多くの聴衆の前で自分の夢や志を熱く語る挑戦の舞台です。

11月29日（月）には、起業部の受賞メンバーが学長室を訪問し、受賞の報告を行いました。起業部のメンバーは「起業部というコミュニティがあったからチームがお互いに相談でき、ブラッシュアップすることができた」と報告し、森脇学長からは、「後輩にもこの経験を伝えていってほしい」と称えました。



受賞報告の様子



集合写真

### 【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2021/11/30	中日	「東海学生AWARD」など 岐阜大生が最優秀報告～森脇久隆学長，教育学研究科1年 杉江萌花さん～
2021/11/30	岐阜	岐阜大3チーム最優秀 東海地区起業家アイデアコンテスト 学長に喜び報告～森脇久隆学長，上原雅行准教授，地域科学部3年 夏目一輝さん，教育学部3年 伊藤彰彦さん，地域科学部3年 長谷川翼さん，工学部4年 加藤満基さん，教育学部3年 鈴木広大さん，教育学研究科1年 杉江萌花さん～

## 「eco検定アワード2021」エコユニット部門 大賞を受賞

### 【概要】

本学は「eco検定アワード2021」エコユニット部門で、教育機関で初めてとなる大賞を受賞しました。2018年より優秀賞、奨励賞を受賞しており、今回で4年連続の受賞となります。

「eco検定アワード」は、環境活動を実践しているエコピープル（eco検定合格者）及びエコユニットの活動を顕彰することで、より多くの企業や団体、個人が積極的に環境に関する知識を身に付け、実際にアクションをおこす一助となることを目的としています。

本学は、地域課題解決に貢献する人材育成のため大学で推進している「次世代地域リーダー育成プログラム」に岐阜県との連携のもとで「環境リーダーコース」を新設させた点や、学生が環境報告書の編集や内部環境監査へ積極的に参画している点、また学生主体の自然再生プロジェクトが「サステイナブルキャンパス賞2020学生活動部門」を受賞するなど、各種表彰につながる成果をあげた点等について評価いただいたの受賞となり、令和3年11月26日の表彰式に参加しました。

今後も環境に配慮した特色ある諸活動を継続的に取り組んでいきます。



eco検定アワード2021 表彰式



表彰状

## ASCN (アジア・サステイナブルキャンパス・ネットワーク)2021年次大会において「金賞」を受賞

### 【概要】

令和4年1月22日に開催されたASCN2021年次大会（Web開催）の学生活動報告において、4カ国14団体より発表があり、岐阜大学環境サークルG-amet（ジャメット）が行った「鶺鴒池(ばんがいけ)自然再生プロジェクト」についての活動報告が「金賞」を受賞しました。

「鶺鴒池自然再生プロジェクト」とは、環境サークル G-ametが取り組む学生主体の生物多様性保全・自然再生プロジェクトです。半世紀近くが経過し、自然環境の劣化と生物多様性の低下が進んだ"鶺鴒池"に、名前の由来となった水鳥「バン」が戻ってくるような環境づくりを目指して、学内外の専門家の協力のもと科学的知見や順応的管理に基づいた様々な取り組みを実施しています。今回は英語でプレゼンテーションを行い、2019年から始まったプロジェクトの継続的な取り組みが評価されての受賞となりました。

岐阜大学は今後も様々な環境活動を推進し、持続可能な社会への貢献を目指します。



プレゼンする環境サークルG-ametの学生  
（左から 田中ひなたさん（応用生物科学部  
1年）、豊川雛衣さん（同2年）、高橋憲紀  
さん（同3年）  
※ 中藤駿さん（同4年）は自宅より参加）



表彰状

※ASCN (Asian Sustainable Campus Network) とは、アジアにおけるサステイナブルキャンパスの推進を目的に、CAS-Net JAPAN (日本)、China Green University Network (中国)、Korean Association for Green Campus Initiative (韓国)、Sustainable University Network of Thailand (タイ) の間で構築されたネットワーク